

平成30年度

時間外電話相談  
「育児もしもしキャッチ」  
—相談情報分析結果報告—

あいち小児保健医療総合センター

あいち小児保健医療総合センター保健センターでは、平成 13 年 11 月のオープン時より、県民の育児不安を軽減し、健やかな子育てを支援することを目的に、時間外電話相談「育児もしもしキャッチ」（以下、「育児もしもしキャッチ」）を開設している。

開設当初は、月曜日から金曜日まで開設していたが、当センターの外来診療日の変更に伴い、平成 15 年 5 月より火曜日から土曜日に相談日を開設している。

### 「育児もしもしキャッチ」

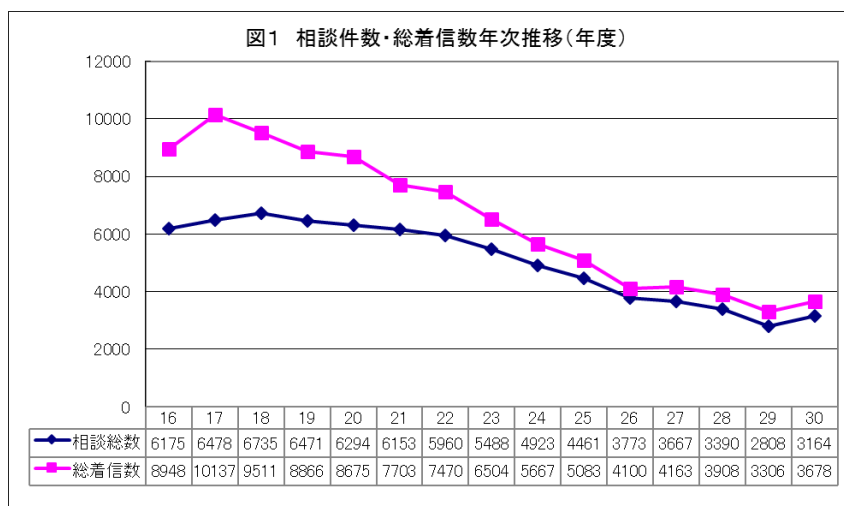
主な相談内容	母子健康手帳を活用する年齢層の母等を対象に、健康や育児について
開設日時	火曜日から土曜日 午後 5 時から午後 9 時まで（4 時間）
相談担当者	保健師、助産師、看護師等の専門相談員が、毎回 3 人で応対
相談体制	当センターの保健師 1 名が相談終了まで勤務する体制をとり、困難な相談への助言、連携の必要なケースを地域に繋ぐ役割等、相談員をバックアップしている。
相談記録の記載方法	相談は原則匿名としているが、相談終了時に相談者の居住地、相談経路を聞いている。電話相談員が相談記録を記載し、予め設定されている「相談内容分類コード」に従い内容の分類を行っている。

### 【平成 30 年度の事業内容】

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までに寄せられた相談情報を保健部門のシステムに入力し、地域別利用数や相談者、相談時間、相談内容等に注目して分析した。

#### 1 相談総数・総着信数について

期間中の相談総数は 3,164 件、総着信数（電話に 응답中のため応答できなかった件数をあわせたもの）は 3,678 件であった。間違い電話等 272 件は除いている。今年度は、昨年度週 4 日としていた相談日を、週 5 日に戻したため、相談件数は昨年度より 356 件と大幅に



増加した。平成 14 年度（平成 13 年 11 月から平成 15 年 3 月、以下平成 14 年度と表記）以降の相談件数は、平成 18 年度まで増加し、その後は平準状態となり近年は減少の傾向にある。また、平成 17 年度がピークであった対応不能件数は減少してきている。今年度の対応不能件数は 514 件で昨年度の 498 件より 16 件増加したが、依然として 1 割強（14.0%）の相談に対応不能の状態である（図 1）。



初回相談者の約半数を占めている。インターネット、スマートフォンの普及によりホームページからの情報が275件(8.7%)で、その割合は平成24年度より漸次増加している。また、県外からの相談41件のうち6件(14.6%)がホームページからの情報であった(資料:表2、図4)。

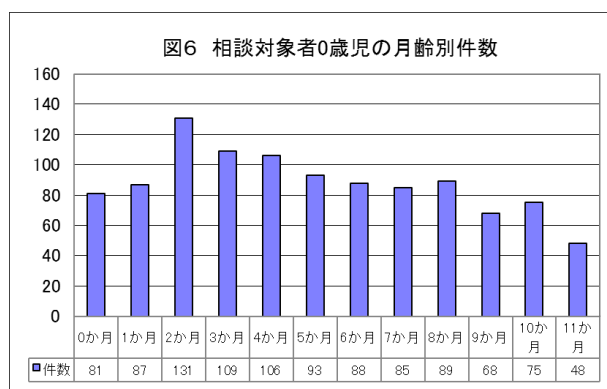
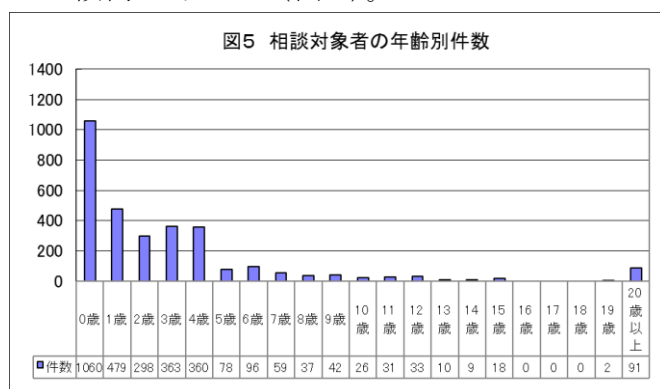
### 3 相談者・相談対象者について

相談記録では、相談者(電話をかけてきた人)の続柄を相談対象者との関係から本人、母、父、配偶者、祖父母等、兄弟、専門職等、その他と分類しているが、母からの相談が93.6%と最も多かった(資料:表3)。

相談対象者は「子ども」が3,042件(96.1%)であった。また、「本人」(母自身のことに関する相談など)は108件(3.4%)であり、経年的にみてもほぼ同様の傾向であった(資料:表4)。

相談対象者の年齢では、0歳が1,060件(33.5%)と最も多く、次いで、1歳が479件(15.1%)、3歳が363件(11.5%)、4歳が360件(11.4%)で、2歳以降の対象者に関する件数は、年齢の上昇に伴い減少していた(図5)。

0歳児の内訳を見ると2か月頃をピークに増減しており、経年的に見てもほぼ同様の傾向であった(図6)。



### 4 相談の時間帯・所要時間・曜日について

#### (1) 時間帯・所要時間について

相談の時間帯は17時台917件(29.0%)と最も多く、次いで18時台が820件(25.9%)であった。

相談の所要時間は、15分未満が2,142件(67.7%)で、5~14分が52.3%であった(資料:表5)。

相談内容により、所要時間は異なり、子どもの病気・手当や事故相談では平均して時間が短く、育児不安を含む家族・人間関係や教育、母自身の相談である女性の体と心の相談等では、所要時間が長くなっている。

#### (2) 曜日について

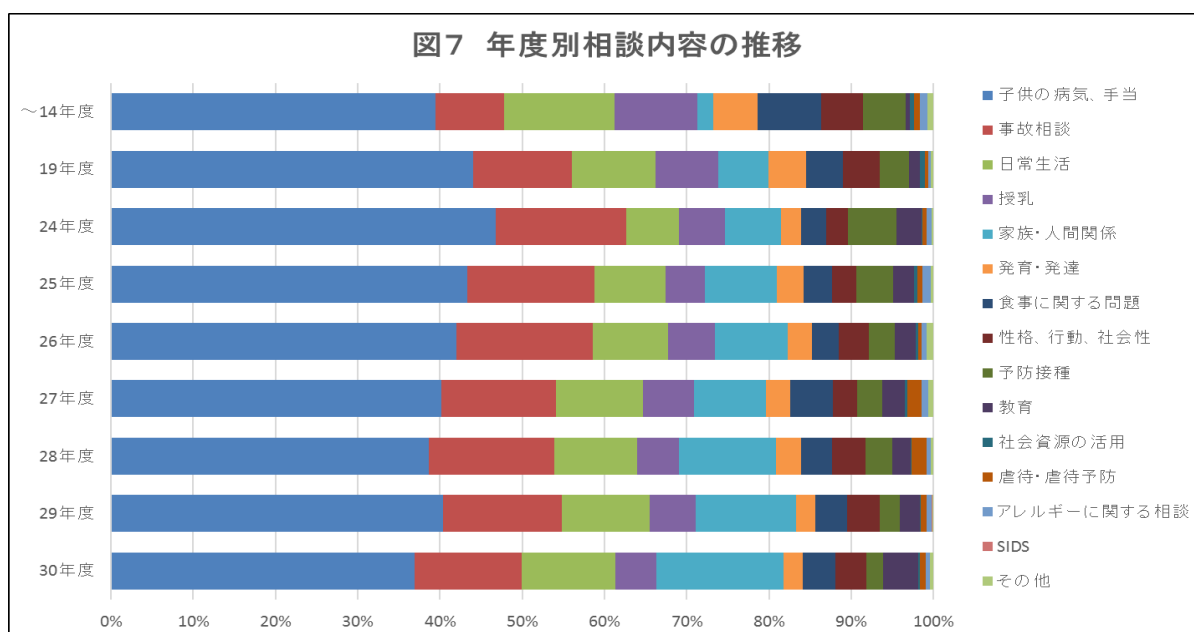
1日あたりの相談件数でみると水曜日が最も多く(14.7件)、木曜日(14.1件)、土曜日(12.0件)の順であった(資料:表6)。曜日別相談内容では、「子どもの病気、手当」「家族・人間関係」で曜日により違いがみられた(表8)。

## 5 相談内容について

### (1) 相談内容について

相談員が相談記録作成時に分類した相談内容では、「育児相談」が 3,026 件 (95.6%) と大半を占め、次いで「母性相談」40 件 (1.3%)、「思春期相談」26 件 (0.8%) の順であった。(資料：表 7)。

「育児相談」3,026 件の内訳は「子どもの病気、手当て」が 1,116 件 (36.9%) と最も多く、次いで「家族・人間関係」の 468 件 (15.5%)、「事故相談」396 件 (13.1%)、「日常生活」の 344 件 (11.4%) の順で多かった。相談内容の推移から「子どもの病気・手当」「事故相談」「予防接種」といった子どもの病気や体調に関する相談の割合が 24 年度まで年々増加し、合計で 68.6% となっていたが、24 年度に 365 日体制、27 年 1 月に夜間実施時間が延長した『小児救急電話相談 (#8000)』が住民へ浸透したためか、30 年度は 52.0% であった。(図 7)。



曜日別では、土曜日の「子どもの病気、手当て」の相談の割合 50.9% は他の曜日の平均 30.8% と比べ 20.1 ポイント高く特徴的である (資料：表 8)。

### (2) 育児相談の内容について

本年度の育児相談 3,026 件の主な内容について資料：表 9 に示した。

#### 1) 「子どもの病気、手当て」1,116 件 (36.9%)

目の前の子どもの症状、病状への対応についてのアドバイス、受診の要否についての相談が多く、熱や鼻汁等のかぜ症状、下痢、嘔吐等の消化器症状、発疹等の皮膚症状、インフルエンザ等の感染症の順に多かった。また、処方された薬の飲ませ方や使い方等の薬に関する相談 25 件も含まれている。

<相談例>

- ・ 7 か月児、発熱 38.5℃、嘔吐あり。水分は少し摂れるが様子見でよいものか。
- ・ 2 歳児、便が出なくて泣いている。すぐにできる対応はないか。
- ・ 3 歳児、内服薬を飲ませたが嘔吐した。再度飲ませた方がよいのか。

受診するべきかを問う相談や、どう行動すべきか意思決定をするための相談が多

く、「かかりつけ医を受診し、内服薬や坐薬をもらってあるが不安。」といった電話も少なくない。保護者が現状をどう捉えているかをよく聴き、今できていることを認めることも重要である。家庭看護力の低下が指摘されている中、発熱の生理的意味から、“様子を見る”とはどういうことか、受診に切り替えるタイミングまでを十分に説明する等、保護者をエンパワメントできる相談となるよう心掛けている。

## 2) 「事故相談」 396 件 (13.1%)

「誤飲・誤嚥」が 129 件 (32.6%) と最も多く、次いで「転落」、「転倒」、「衝突」、「熱傷」と続く(表 9)。また、事故相談全体で 1 歳未満の子どもについての相談が 174 件 (43.9%) を占めていた。

### < 誤飲・誤嚥 >

誤飲・誤嚥も内容により、緊急性が異なる。その内容を図 8 に示す。

・「文具類」31 件中、紙類が 13 件 (41.9%)、ビニール類が 8 件 (25.8%) あった。その他、クレヨンやインク等があった。

・「プラスチック製品」17 件中、包装(菓子や飲料等)が 4 件 (23.5%)、おもちゃが 3 件 (17.6%)、その他、イヤホンの部品やヘアピンの飾り等があった。

・「食品」21 件中、魚の骨が 5 件 (23.8%) と最も多く、酒類、イモ類、肉が各 2 件 (4.8%)、その他には果物や菓子等があった。

・「医薬品」12 件中、1 歳児が 7 件と半数以上であった。「大人用の薬を飲んでしまった」が 5 件 (41.6%)、「軟膏等の外用薬を舐めた」が 2 件 (16.7%)、他に「きょうだいの薬を間違えて与えてしまった」が 2 件 (16.7%) あった。

### < 転落・転倒 >

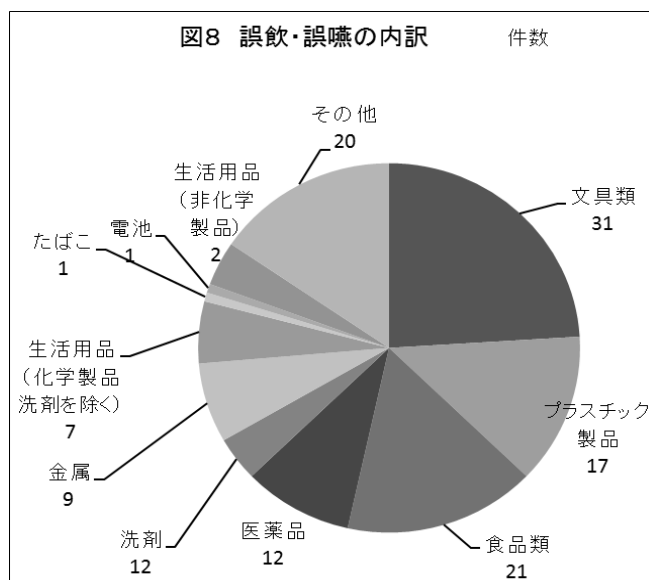
・「転落」80 件中、ベッド等の家具からが 27 件 (33.8%)、ソファ等を含めた椅子からが 19 件 (23.8%)、階段 7 件 (8.8%) であった。「目を離した際に家具によじ登り転落した」ケースや、「バウンサーからの転落」があった。

・「転倒」71 件中、居室での転倒が 42 件 (59.2%) と最も多く、次いで風呂が 8 件 (11.3%)、道路が 5 件 (7.0%) と続いた。居室では、つかまり立ちや歩き始めでバランスを崩し、床や机に額や顔面をぶつけたケースや、お座りで後ろに倒れて後頭部を打撲したケースがあった。

### < 熱傷 >

・熱傷 16 件中、1 歳児が 5 件 (31.3%)、0 歳児が 3 件 (18.8%) であった。最も多いのは「卓上のお湯、熱いスープ等」8 件 (50.0%) で、作りたての味噌汁やカップ麺等であった。次いで、「ポット、炊飯器」が 3 件 (18.8%) で、受診を勧めたケースもあった。

事故相談では、保護者の事故に対する焦りや自責の気持ちに寄り添い、状況を的確に捉えて、冷静な対応を促す。乳幼児の事故相談は、環境整備により防ぐことが

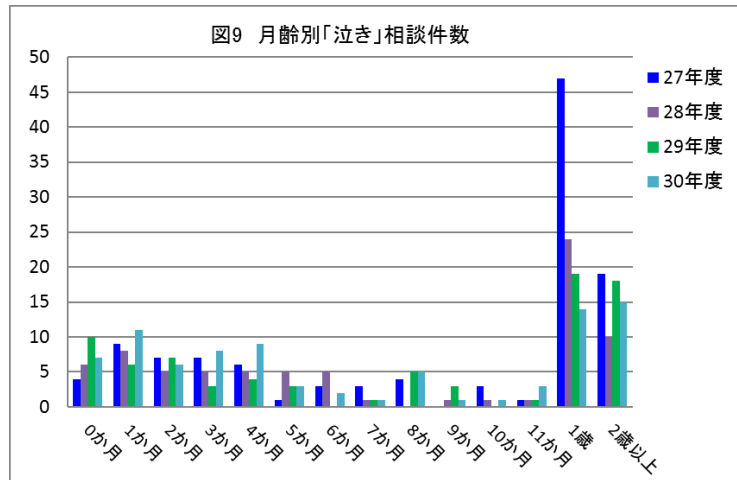


可能なものが大半である。起こったことを客観的に振り返ることが次の事故の予防となることを啓発する必要がある。

### 3) 「日常生活」344件 (11.4%)

「泣き」の相談が86件(25.0%)と最も多く、0歳児の相談が57件(66.3%)で、そのうち0~4か月の相談が41件(71.9%)と多く認められた(図9)。

『乳幼児揺さぶられ症候群』の予防のためにも、生後6週間くらいから見られる夕暮れ泣き(『PURPLE CRYING』)への対応策を早い段階から啓発する必要性が示唆される。



#### <相談例>

- ・ 5か月児、夕方から泣き止まず、どうしたらよいか。もう疲れてしまった。
- ・ 2歳半児、かんしゃくをよく起こす。スイッチが入ると手がつけられない。

「しつけ」に関する相談が63件(18.3%)、「トイレトレーニング」32件(9.3%)、「睡眠」30件(8.7%)と続く。

### 4) 「家族・人間関係」468件 (15.5%)

「育児不安」が327件(69.9%)で最も多く、次いで「家族内の人間関係」88件(18.8%)、「近所との付き合い」40件(8.5%)であった。

「育児不安」では、7か月児の母から「育児に疲れて、休んだり手を抜いたりしたい気持ちになる一方、そういう風に思っただけとはいけないという気持ちもあって悩む。」という相談や、8歳児の母からは「反抗期で大変。どうしたらよくなるか。」といった様々な相談が持ち込まれている。「家族内の人間関係」では、「夫が育児に非協力的」「夫の親との関係性」に関する相談が多く、「話を聞いて欲しい」との訴えがあった。「近所との付き合い」では、近隣住民やママ友、同級生の両親等、子どもを介して広がる社会に対するストレスに関する相談が多かった。

これら「家族・人間関係」の相談では、356件(76.1%)が「利用経験あり」で、そのうち104件(29.2%)が7歳以上の子を持つ親または親自身の相談であった。

### 5) 「授乳」151件 (5.0%)

「授乳方法」に関する相談は55件(36.4%)認められ、授乳回数、間隔、量、眠りとの関連等の相談が主であった。

#### <相談例>

- ・ 2か月児、母乳の出が悪く、ミルクを多めに与えていたら急激に体重が増えすぎてしまった。ミルクの量を教えて欲しい。
- ・ 1か月児、発熱しているが授乳続けてよいか。授乳中も可能な抗生剤内服中。

次いで、「吐乳,溢乳」33件(21.9%)、「授乳と薬」20件(13.2%)、「乳汁を飲まない」12件(7.9%)と続く。「授乳と薬」では、体調が悪い辛さに加え、授乳に悩む辛

さに寄り添い、根拠に基づいた適切な助言ができるよう努めている。

6) 「食事に関する問題」 120 件 (4.0%)

昨年度から割合は横ばいである。「離乳食・幼児食」が 65 件 (54.2%) で一番多く、次いで「食事のしつけ」が 21 件 (17.5%) であった。

<相談例>

- ・ 7 か月、離乳食開始して 1 ヶ月。どういった順番で種類を増やしたらよいか。
- ・ 2 歳児、園では食べているが家ではあまり食べない。遊び食べもあり。

7) その他

「予防接種」は 61 件 (2.0%) であった。「副反応」の相談では、肺炎球菌、Hib、B 型肝炎、ロタウイルス等の同時接種後の一過性の発熱の相談や BCG 接種後の発赤腫脹についての相談があった。

「虐待・虐待予防」は 21 件 (0.7%) であり昨年度より横ばいであった。

<相談例>

- ・ 2 歳児、子どもに手を上げてしまう。身近に相談できる人・支援者はない。
- ・ 5 歳児、子どもは可愛いがかつとなると手が出てしまう。イライラすると止められずどうしたらよいか。

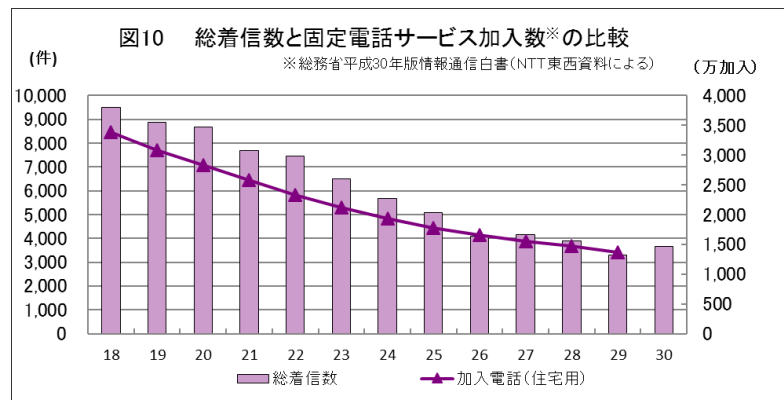
原則、匿名相談ではあるが、気になるケースについては、相談対象が明確でなくともできる限りの情報を用いて地域連携を行っている。

## 6 相談結果について

電話相談は原則匿名で 1 回の相談での終了が前提となっているため、利用経験がある場合も継続支援とはしておらず、1 回で終了としている。

本年度の相談の結果から

相談件数は平成 18 年度以降減少傾向にある。総務省の調査では、住宅用固定電話の加入数は平成 17 年以降減少している。携帯電話・スマートフォンの普及から、インターネットによる相談にもアクセスが簡便になったことや通話費用負担が大きくなりがちな電話相談の利用が敬遠される状況であることが推測される。



平成 24 年度以降、『小児救急電話相談 (#8000)』の住民への浸透に伴い「子どもの病気・手当」「事故相談」が大きく減少しており、本年度も、子どもの体調に関わる内容の相談割合が昨年度に比べて減少している。一方で、「家族・人間関係」についての相談割合は年々大きくなっており、「家族・人間関係」の悩みについて身近に相談できる人がいない状況にある相談者が増えている状況が懸念される。相談記録か



らは「誰かに話を聞いて欲しい」との訴えも多く、『育児もしもしキャッチ』は育児で困っている親の不安や心配、うまくいかない苛立ちを受け止める窓口としての大きな役割を担っている。

## 8 まとめ

本事業は平成13年11月のセンター開設と同時に開始され、関係機関からも高い認知度と期待を受けて運営されてきた。社会の育児問題が反映されており、ニーズ把握に役立てることができる貴重な機会でもある。県内の小児保健の中核的支援機能を有する当センターの保健事業のひとつとして、今後も継続する必然性がある。

表1 市町村別の利用状況

	市町村	件数	出生 1,000対	H29 出生数		市町村	件数	出生 1,000対	H29 出生数
1	名古屋市	954	49.9	19,120	30	知多市	26	40.4	644
2	刈谷市	137	89.7	1,527	31	常滑市	26	52.7	493
3	安城市	135	74.9	1,802	32	津島市	20	59.2	338
4	大府市	110	107.8	1,020	33	田原市	19	43.6	436
5	岡崎市	110	31.0	3,544	34	尾張旭市	18	28.8	624
6	豊田市	103	28.1	3,666	35	阿久比町	17	62.7	271
7	一宮市	98	34.9	2,805	36	蒲郡市	16	32.8	488
8	清須市	76	97.4	780	37	愛西市	15	48.2	311
9	春日井市	69	25.8	2,674	38	東浦町	14	39.3	356
10	豊橋市	69	23.9	2888	39	武豊町	14	45.0	311
11	豊川市	63	42.1	1,498	40	東郷町	13	38.7	336
12	東海市	60	53.3	1,126	41	岩倉市	12	25.4	473
13	日進市	56	55.8	1,004	42	扶桑町	11	39.7	277
14	知立市	55	78.6	700	43	豊山町	11	71.9	153
15	長久手市	50	75.0	667	44	南知多町	11	123.6	89
16	西尾市	49	37.4	1,309	45	大治町	8	24.6	325
17	蟹江町	48	150.5	319	46	幸田町	6	13.5	446
18	小牧市	47	42.1	1116	47	新城市	5	23.3	215
19	北名古屋市	45	51.7	870	48	大口町	4	15.9	251
20	弥富市	42	124.3	338	49	犬山市	4	9.2	437
21	豊明市	36	64.9	555	50	美浜町	3	29.7	101
22	半田市	35	37.2	941	51	設楽町	1	62.5	16
23	みよし市	35	58.6	597	52	飛島村	0	0.0	27
24	稲沢市	31	29.6	1046	53	東栄町	0	0.0	9
25	碧南市	31	56.2	552	54	豊根村	0	0.0	7
26	江南市	29	41.0	708		県内不明	33		
27	あま市	28	40.5	692		愛知県下 (含名古屋市)	2,962	47.4	62,436
28	高浜市	27	67.8	398		他県	41		
29	瀬戸市	27	33.8	800		不明	161		
						合計	3,104		

表2 年度別経路

経路	利用経験あり	市町村(保健福祉)	母子健康手帳	医療機関	保健所	友人・知人	ホームページ	子育て支援センター	院内	幼稚園・保育園等	学校	児童相談センター	その他	不明	計
18年度	3,652	821	611	343	340	118	81	43	32	6	4	9	121	554	6,735
	(54.2)	(12.2)	(9.1)	(5.1)	(5.0)	(1.8)	(1.2)	(0.6)	(0.5)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(1.8)	(8.2)	(100.0)
19年度	3,429	821	666	379	387	120	112	35	45	7	2	4	52	412	6,471
	(53.0)	(12.7)	(10.3)	(5.9)	(6.0)	(1.9)	(1.7)	(0.5)	(0.7)	(0.1)	(0.0)	(0.1)	(0.8)	(6.4)	(100.0)
20年度	3,276	796	665	315	383	80	129	40	35	3	3	3	74	492	6,294
	(52.0)	(12.6)	(10.6)	(5.0)	(6.1)	(1.3)	(2.0)	(0.6)	(0.6)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(1.2)	(7.8)	(100.0)
21年度	3,180	832	725	297	382	84	135	23	13	7	4	3	52	416	6,153
	(51.7)	(13.5)	(11.8)	(4.8)	(6.2)	(1.4)	(2.2)	(0.4)	(0.2)	(0.1)	(0.1)	(0.0)	(0.8)	(6.8)	(100.0)
22年度	3,027	743	711	240	385	68	122	27	9	8	4	4	41	571	5,960
	(50.8)	(12.5)	(11.9)	(4.0)	(6.5)	(1.1)	(2.0)	(0.5)	(0.2)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.7)	(9.6)	(100.0)
23年度	2,725	828	730	250	295	68	113	29	18	10	2	1	39	380	5,488
	(49.7)	(15.1)	(13.3)	(4.6)	(5.4)	(1.2)	(2.1)	(0.5)	(0.3)	(0.2)	(0.0)	(0.0)	(0.7)	(6.9)	(100.0)
24年度	2,509	762	671	201	158	53	167	32	31	2	1	0	31	305	4,923
	(51.0)	(15.5)	(13.6)	(4.1)	(3.2)	(1.1)	(3.4)	(0.7)	(0.6)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.6)	(6.2)	(100.0)
25年度	2,335	602	632	117	134	41	196	24	28	9	3	2	26	312	4,461
	(52.3)	(13.5)	(14.2)	(2.6)	(3.0)	(0.9)	(4.4)	(0.5)	(0.6)	(0.2)	(0.1)	(0.0)	(0.6)	(7.0)	(100.0)
26年度	2,027	460	537	113	126	14	197	17	22	2	2	0	31	225	3,773
	(53.7)	(12.2)	(14.2)	(3.0)	(3.3)	(0.4)	(5.2)	(0.5)	(0.6)	(0.1)	(0.1)	(0.0)	(0.8)	(6.0)	(100.0)
27年度	1,975	431	509	80	77	27	244	14	9	4	0	0	22	275	3,667
	(53.9)	(11.8)	(13.9)	(2.2)	(2.1)	(0.7)	(6.7)	(0.4)	(0.2)	(0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.6)	(7.5)	(100.0)
28年度	1,761	376	503	65	50	17	293	14	6	2	3	1	18	281	3,390
	(51.9)	(11.1)	(14.8)	(1.9)	(1.5)	(0.5)	(8.6)	(0.4)	(0.2)	(0.1)	(0.1)	(0.0)	(0.5)	(8.3)	(100.0)
29年度	1,433	329	420	52	51	8	275	9	7	0	0	1	3	220	2,808
	(51.0)	(11.7)	(15.0)	(1.9)	(1.8)	(0.3)	(9.8)	(0.3)	(0.2)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.1)	(7.8)	(100.0)
30年度	1,722	351	376	49	18	11	275	4	7	2	1	0	9	339	3,164
	(54.4)	(11.1)	(11.9)	(1.5)	(0.6)	(0.3)	(8.7)	(0.1)	(0.2)	(0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.3)	(10.7)	(100.0)

表3 相談者の続柄

続柄	件数	割合
母	2,962	93.6%
本人	107	3.4%
父	79	2.5%
配偶者	4	0.1%
祖父母等	3	0.1%
きょうだい	1	0.0%
専門家等	0	0.0%
その他	1	0.0%
不明	7	0.2%
合計	3,164	100.0%

表4 相談対象者

	件数	割合
子ども	3,042	96.1%
本人	108	3.4%
孫・甥・姪等	3	0.1%
配偶者	4	0.1%
きょうだい	1	0.0%
患者等	0	0.0%
その他	1	0.0%
不明	5	0.2%
総計	3,164	100.0%

表5 時間帯と所要時間

所要時間	17時台	18時台	19時台	20時台	不明	合計
5分未満	118	138	115	114	1	486
	12.9%	16.8%	15.3%	17.1%	0.0%	15.4%
5～14分	481	420	398	352	5	1,656
	52.5%	51.2%	52.9%	52.9%	0.0%	52.3%
15～29分	207	158	164	149	1	679
	22.6%	19.3%	21.8%	22.4%	0.0%	21.5%
30～44分	79	76	59	41	1	256
	8.6%	9.3%	7.8%	6.2%	0.0%	8.1%
45～59分	21	24	13	10	0	68
	2.3%	2.9%	1.7%	1.5%	0.0%	2.1%
60分以上	11	4	4	0	0	19
	1.2%	0.5%	0.5%	0.0%	0.0%	0.6%
全体	917	820	753	666	8	3,164
	29.0%	25.9%	23.8%	21.0%	0.3%	100.0%

表6 曜日別状況

	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	全体
H18年度	1,289 19.1%	1,425 21.2%	1,506 22.4%	1,320 19.6%	1,195 17.7%	6,735 100.0%
H19年度	1,221 18.9%	1,480 22.9%	1,395 21.6%	1,262 19.5%	1,113 17.2%	6,471 100.0%
H20年度 (1日平均件数)	1,160 (27.6) 18.4%	1,365 (27.9) 21.7%	1,406 (27.6) 22.3%	1,223 (24.5) 19.4%	1,137 (22.3) 18.1%	6,294 (25.9) 100.0%
H21年度 (1日平均件数)	1,159 (27.0) 18.8%	1,321 (27.5) 21.5%	1,301 (27.1) 21.1%	1,255 (24.6) 20.4%	1,117 (21.9) 18.2%	6,153 (25.5) 100.0%
H22年度 (1日平均件数)	1,163 (25.8) 19.5%	1,239 (25.3) 20.8%	1,290 (26.9) 21.6%	1,191 (23.8) 20.0%	1,077 (21.1) 18.1%	5,960 (24.5) 100.0%
H23年度 (1日平均件数)	1,055 (23.4) 19.2%	1,165 (22.8) 21.2%	1,149 (23.4) 20.9%	1,056 (21.6) 19.2%	1,063 (20.8) 19.4%	5,488 (22.4) 100.0%
H24年度 (1日平均件数)	946 (19.7) 19.2%	1,033 (20.7) 21.0%	1,107 (22.1) 22.5%	871 (17.4) 17.7%	966 (18.9) 19.6%	4,923 (19.8) 100.0%
H25年度 (1日平均件数)	791 (19.3) 17.7%	966 (18.9) 21.7%	968 (19.0) 21.7%	842 (17.2) 18.9%	894 (17.2) 20.0%	4,461 (18.3) 100.0%
H26年度 (1日平均件数)	642 (15.3) 17.0%	784 (16.0) 20.8%	868 (17.0) 23.0%	704 (13.8) 18.7%	775 (15.2) 20.5%	3,773 (15.5) 100.0%
H27年度 (1日平均件数)	644 (15.0) 17.6%	750 (15.6) 20.5%	787 (16.1) 21.5%	691 (13.5) 18.8%	795 (15.6) 21.7%	3,667 (15.2) 100.0%
H28年度 (1日平均件数)	637 (14.8) 18.8%	736 (15.3) 21.7%	718 (14.7) 21.2%	647 (12.7) 19.1%	652 (12.8) 19.2%	3,390 (14.0) 100.0%
H29年度 (1日平均件数)		736 (15.0) 26.2%	774 (15.2) 27.6%	615 (12.1) 21.9%	683 (13.4) 24.3%	2,808 (11.6) 100.0%
H30年度 (1日平均件数)	512 (10.4) 16.2%	722 (14.7) 22.8%	717 (14.1) 22.7%	600 (11.8) 19.0%	613 (12.0) 19.4%	3,164 (13.1) 100.0%

表7 相談分類

	件数	割合
育児相談	3,026	95.6%
母性相談	40	1.3%
思春期相談	26	0.8%
家族の心と体の相談	24	0.8%
その他	48	1.5%
合計	3,164	100.0%

表8 育児相談の曜日別状況

内容	全体		内訳									
			火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日					
子供の病気、手当	1,116	36.9%	178	36.6%	255	36.6%	204	30.2%	174	30.6%	305	50.9%
事故相談	396	13.1%	61	12.5%	78	11.2%	94	13.9%	77	13.6%	86	14.4%
家族・人間関係	468	15.5%	78	16.0%	119	17.1%	120	17.8%	101	17.8%	50	8.3%
日常生活	344	11.4%	49	10.1%	77	11.1%	85	12.6%	72	12.7%	61	10.2%
授乳	151	5.0%	20	4.1%	31	4.5%	37	5.5%	28	4.9%	35	5.8%
性格、行動、社会性	115	3.8%	22	4.5%	29	4.2%	30	4.4%	23	4.0%	11	1.8%
食事に関する問題	120	4.0%	17	3.5%	40	5.7%	25	3.7%	28	4.9%	10	1.7%
予防接種	61	2.0%	16	3.3%	8	1.1%	10	1.5%	13	2.3%	14	2.3%
発育・発達	70	2.3%	13	2.7%	18	2.6%	20	3.0%	14	2.5%	5	0.8%
教育	128	4.2%	26	5.3%	32	4.6%	35	5.2%	29	5.1%	6	1.0%
虐待・虐待予防	21	0.7%	5	1.0%	4	0.6%	4	0.6%	4	0.7%	4	0.7%
アレルギーに関する問題	18	0.6%	0	0.0%	3	0.4%	7	1.0%	3	0.5%	5	0.8%
社会資源の活用	6	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%	1	0.2%	3	0.5%
SIDS相談	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	12	0.4%	2	0.4%	2	0.3%	3	0.4%	1	0.2%	4	0.7%
計	3,026	100.0%	487	100.0%	696	100.0%	676	100.0%	568	100.0%	599	100.0%

表9 育児相談(3026件)の主な内容

	①	件数		②	件数		③	件数	
		子供の病気、手当	1,116	(36.9%)	家族・人間関係	468	(15.5%)	事故相談	396
主な内容	かぜの症状	380	34.1%	育児不安	327	69.9%	誤飲・誤嚥	129	32.6%
	消化器症状	288	25.8%	家庭内の人間関係	88	18.8%	転落	80	20.2%
	皮膚症状	134	12.0%	近所との付き合い方	40	8.5%	転倒	71	17.9%
	感染症	68	6.1%	職場関係	5	1.1%	衝突	53	13.4%
	耳鼻咽喉症状	34	3.0%				熱傷	16	4.0%

	④	件数		⑤	件数		⑥	件数	
		日常生活	344	(11.4%)	授乳	151	(5.0%)	教育	128
主な内容	泣き	86	25.0%	授乳方法	55	36.4%	幼稚園、保育園	72	56.3%
	トイレトレーニング	63	18.3%	吐乳、溢乳	33	21.9%	小学校	37	28.9%
	しつけ	32	9.3%	授乳と薬	20	13.2%	中学校	6	4.7%
	睡眠	30	8.7%	乳汁を飲まない	12	7.9%			
				断乳	5	3.3%			

	⑦	件数		⑧	件数		⑨	件数	
		食事に関する問題	120	(4.0%)	性格、行動、社会性	115	(3.8%)	発育・発達	70
主な内容	離乳食・幼児食	65	54.2%	言うことを聞かない	56	48.7%	発育の評価	20	28.6%
	食事のしつけ	21	17.5%	赤ちゃん帰り	15	13.0%	言語発達	15	21.4%
	飲まない、食べない	18	15.0%	習癖	7	6.1%	精神発達	15	21.4%
	飲み込まない、かまない	1	0.8%	いじめる、いじめられる	6	5.2%	体重増加不良	10	14.3%
	食べ過ぎる	1	0.8%	分離不安	5	4.3%			

	⑩	件数		⑪	件数		⑫	件数	
		予防接種	61	(2.0%)	虐待・虐待予防	21	(0.7%)	アレルギーに関する相談	18
主な内容	副反応	42	68.9%	親への支援	10	47.6%	食物アレルギー	12	66.7%
	接種時期・方法	12	19.7%	子どもへの虐待	8	38.1%	アレルギー疾患全般	2	11.1%
	効果	2	3.3%				気管支喘息	1	5.6%
	海外渡航	1	1.6%				アトピー性皮膚炎	1	5.6%

	⑬	件数	
		社会資源の活用	6
主な内容	子育て支援	3	50.0%

編集	あいち小児保健医療総合センター 保健センター保健室 〒474-8710 大府市森岡町七丁目 426 番地 TEL 0562-43-0500 内線 4043
発行	令和元年5月